

議事録		会 議 名		
		第3回静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会		
日 時	平成30年7月23日(月)	14:00~14:50	会 場	沼津市民文化センター第1練習室
議 事	(1)	沼津市調査※の結果概要報告 ※平成29年度アスクラロ沼津によるにぎわいづくり等に関する調査業務委託		
	(2)	ホームスタジアム整備ロードマップ案について		
出席者				
一般財団法人静岡県サッカー協会	専務理事	服部康雄		
一般財団法人静岡県サッカー協会東部支部	会長	坂根英夫		
アスクラロスルガ株式会社	代表取締役副会長	山本浩義		
	代表取締役社長	渡邊隆司		
静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会	専務理事	宮崎眞行		
NPO法人沼津市体育協会	副会長	秋山孝道		
法政大学経済学部	教授	杉本龍勇		
NPO法人くらしまち継承機構	理事長	伊藤光造		
静岡県商工会議所連合会		欠席		
静岡県商工会連合会		欠席		
沼津商工会議所	専務理事	杉山金芳		
沼津市商工会	会長	渡邊好孝		
NPO法人沼津観光協会	専務理事	大川敦士		
沼津市自治会連合会		欠席		
一般社団法人沼津青年会議所	副理事長	竹村俊克		
三島市	地域ブランド創造室長	千葉 敬		
富士宮市		欠席		
富士市	スポーツ振興課統括主幹	平野真一		
裾野市	主任	山本祥平		
清水町		欠席		
伊豆の国市	スポーツ振興課長	曾根原英雄		
長泉町		欠席		
沼津市	市長戦略監兼企画部長	後藤克裕		
	産業振興部長	山田昭裕		
静岡県	東部地域局次長兼地域課長	市川 顯		
	都市局長	小澤伸行		
	スポーツ局スポーツ振興課長	吉住理恵子		

## 要 旨

### < 議事 1 >

#### 【事務局沼津市説明－沼津市調査の結果概要報告（資料4、資料5）－】

資料4、5に沼津市が平成29年度末に実施した業務委託調査の結果概要をまとめている。

- ・資料4は、ハード調査と呼んでいる部分で、愛鷹広域公園多目的競技場（以下、「愛鷹競技場」）が改修によってJ2基準を満たすことができるのか、技術的検討の必要性から実施し、必要な改修項目はどのようなものか調査を行った。

結果、J2基準クリアのために①観客席5千席増設、②電光掲示板から大型映像装置設置への改修、③ピッチ用照明設備の照度向上、④トイレの増設と既存分の洋式化、⑤ドーピングコントロール室等メインスタンド下の諸室整備が必要とわかった。これら必要な改修工事の概算費用として15億円から20億円となった。

- ・資料5は、アスルクラロ沼津が東部地域にどのようなプラスの効果をもたらすのか検討したもの。スポーツ振興の効果や、地域への愛着等住民や自治体における効果、観光・宿泊・消費への効果等が想定される。また、アスルクラロ沼津の静岡県内での年間経済波及効果として、J3現在では6.3億円、J2昇格初年度に11.4億円、J1昇格初年度に34億円と推計している。本調査では最終的に、ホームスタジアムを核とした静岡県東部のにぎわいづくり実現のためのキーコンセプトとして①クラブへの地域の主体的な応援や関与を一層増やすこと、②クラブと地域の目指すべき方向性を一致させることとしている。具体的項目として、地域社会・企業等へのアスルクラロ沼津がもたらすメリットの見える化、そしてホームゲームをフックと捉えてスタジアム周辺へ観光や消費に来場者を流す意識的な取組みを挙げている。

#### 【県都市局・小澤】

資料4ハード調査の概算費用には、例えば駐車場などスタジアムの外の諸問題への対策費用は入っていないのか。

#### 【事務局・沼津市】

今後スタジアム周辺の検討は必要になってくるが、平成29年度沼津市調査には含まれていない。

#### 【アスルクラロ・渡邊】

駐車場の問題については、8,600人ほど来場があった昨年の最終戦ホームゲームではバス利用を促すようバス来場者への特典を企画、実施した。また、来場者の多い試合や高校野球と重なる試合には富士通沼津工場様の駐車場をお借りし、パークアンドライドとしてバスでのピストン輸送を実施している。

#### 【会長・杉本】

経済波及効果の結果について、資料5の2枚目の左下に「宿泊・観光」に「回答者の10.4%が県内に宿泊。20.0%が他の観光地に立ち寄り」とあるが、「観光地に立ち寄った20%」の中に「県内に宿泊した10.4%」が含まれている数字なのか、別建ての数字なのか。（2017年12月3日実施のアンケート調査）

#### 【事務局・沼津市】

「観光地に立ち寄った20%」は「県内に宿泊した10.4%」のうちということではなく、全体の回答者のうち県内宿泊の有無にかかわらず他の観光地に立ち寄って帰る、という数字である。

#### < 議事2 >

##### 【事務局・沼津市説明－ホームスタジアム整備ロードマップ案（資料6）－】

- ・今後のホームスタジアムの整備について、J1対応新スタジアムについて上段、愛鷹競技場改修によるJ2ホームスタジアム暫定利用について中段、クラブの取組みについて下段においたロードマップである。このロードマップは時系列になっているものの、今後ホームスタジアム整備に必要な取組みや段取りを時系列で示したもの。ひとつ整ったら次に進めるというものになっているので、各事項は「何年何月にできる」等という性質のものではない。この一枚のロードマップでこの地域の共通認識を作っていくためのたたき台として理解いただきたい。
- ・上段のJ1対応新スタジアムの流れとしては、まず2018年、①建設事業主体、②候補地、③ロードマップを考え方や方針のレベルで盛り込んだ「新スタジアム基本構想」を策定し、Jリーグ協議を行う。次の段階として、建設事業主体の成立が必要となり、現時点では一つの主体か複数で構成するものかは決まっていないが、この資料案では「建設事業団体の発足」としている。そして建設候補地の絞り込み、建設用地決定、設計、工事、完成という流れとなっている。  
なお、この資料では、県東部で目指したいスタジアム像をまとめたものを「基本構想」と呼び、用地や建物、建設運営の体制・スキーム等からなる「基本計画」、設計の順にこの資料では具体化しており、建設事業団体発足まではこの連絡会が検討の中心を担うものと想定している。
- ・中段の愛鷹競技場改修関連としては、新スタジアム基本構想策定・Jリーグ協議のところから下に矢印が出ているとおり、Jリーグとの協議により愛鷹競技場の「観客席全面を覆う屋根」の有無や必要な改修内容が確定する。現在、議事1で報告した沼津市の平成29年度調査「沼津市基礎調査」を終えたところであり、今後、先進事例調査、改修案に対する愛鷹競技場利用団体との調整を行う。

以上、Jリーグ協議や、沼津市基礎調査で整理した改修概要にもとづく利用団体調整とこれを踏まえた改修内容、愛鷹競技場J2ホームスタジアム利用終了後の検討などを含んだ愛鷹競技場改修の「基本計画」を作るとともに、改修事業主体や改修費用負担の協議を行い、設計予算確保、設計約2年、工事約2～3年となっている。

改修事業期間の注釈として、工事によって愛鷹競技場利用団体が大会等に使用できないなどの利用制限は最小化する考えであり、利用予定を考慮するため一度にすべて施工するのは難しく、それらを含んだ改修期間見通しとなっている。なお、資料中の「改修事業期間」は、平成29年度の沼津市基礎調査において専門事業者が調査検討を行った結果をもとに施設管理者である静岡県庁の意見を踏まえて想定をしたものであり、「準備期間」も施設管理者である静岡県庁の意見を踏まえて想定した。また、愛鷹競技場の改修後に新スタジアムの動きが進むなど、J2のホームスタジアムとして愛鷹競技場の利用期間が短くなった場合、愛鷹競技場の改修自体の必要性について改めて議論が必要となる。

#### 【事務局・アスルクラロ説明】

アスルクラロが J 2 以上に見合うクラブに成長しなければスタジアムだけ作っても意味がなく、資料のロードマップ中にクラブの取組みとして「J 2 以上に見合うチーム力・財政力をつける」期間として示している。

チーム力としてはシーズン 2 位に入ること、財政力としては 2017 年現在では約 3 億 5 千万円※で J 3 では中堅、J 2 平均では約 10 億円※なので最低 5 億円はないと J 2 では戦えない。

(※J リーグホームページ公開資料『2017 年度クラブ決算一覧』によると、アスルクラロスルガ(株)の年間営業収益は約 3 億 6 千万円、J 2 クラブの同平均額は約 1 億 4 千万円)

ホームゲーム来場者は現在約 2,200 人、ソシオ会員は約 1,500 人で、看板スポンサーは J 3 ではトップのレベル。

静岡県東部地域での活動としては、E-S p o を通じて現在 10 市町と相互協力のパートナーシップ協定を締結、他、9 市町と調整中。また、E-S p o と連携し、今年度から東部の自治体(協定締結先)の小学校にサッカーや陸上の巡回教室を始めている。

#### 【静岡県・小澤】

J 1 対応新スタジアム整備が進むと、折角改修した愛鷹競技場の J 2 ホームスタジアムとしての利用が短くなってしまいう可能性もあり、本当に 20 億円以上を投資するべきかが問題になってくる。新スタジアム基本構想の内容は「考え方・方針のレベル」ということだが、新スタジアムをいつ・誰が・どこにという点がある程度明確にすべき。愛鷹の改修のための「基本計画」のところから予算が必要になるので、愛鷹の改修の必要性をみなさんで判断すべきと考える。

#### 【会長・杉本】

時系列としていつがゴールなのか、現時点では未定。この連絡会で、建設事業団体がどうなのか、建設用地がどうなのかも見えていない中で煮詰めていかなければならないものの、現時点ではさまざまところに配慮したロードマップになっているので、どこからお金を出すかなど具体的にない限り、これ以上明確なロードマップはできないと思う。

#### 【会長・杉本】

アスルクラロと自治体のパートナーシップ協定により小学校へスポーツ教室を実施しているということだが、もう少し集客につながる提案をクラブからしなければ、来てもらってよかった、というだけで終わってしまう。例えばアスルクラロのライセンスを使う代わりに〇〇してもらおうといったように戦略的に、ビジネスライクに市町と話を進める必要がある。

<b>発言録</b>	
発言者 (敬称略)	内 容
事務局 沼津市 鈴木	<p>本日お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたのでただいまより第3回静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会を開催します。出席者につきましては名簿と座席表により紹介にかえさせていただきます。</p> <p>初めに沼津市産業振興部長よりご挨拶申し上げます。</p>
沼津市 山田	<p>本日はお忙しいところ、また大変な暑さの中、静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会にお集まりいただき、まことにありがとうございます。本来この場は頼重市長から挨拶申し上げますところですが、本日公務のため急きょ国へ向かうことになり欠席とさせていただきますので私から一言ご挨拶させていただきます。</p> <p>アスクラロ沼津は、県東部地域で初のJリーグチームとして昨年よりJ3で活躍し、今シーズン現時点で第2位という位置にあり、当市としては引き続きの成績を維持していただきたく、ホームタウンとして応援をして参りたいと考えております。</p> <p>この会議の目的は将来の県東部の賑わいの拠点となるスタジアムに道筋をつけることですが、この会議の成果もアスクラロ沼津の大きな応援になると考えております。</p> <p>さて、第3回となる本日の会議ですが、事務局としては5月ごろの開催を考えておりましたが、前沼津市長の逝去により本日の開催となったことをお詫び申し上げます。</p> <p>本日も会員の皆様から幅広い意見を伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局 沼津市 鈴木	<p>それでは次第の1、開会ですが、杉本会長から開会のご挨拶をお願いします。</p>
会長 杉本	<p>第2回から少し時間が空きましたが、その間、新しいアイデア、考え方や、あるいは既存の考え方が煮詰まっているということもあると思いますので、本日は特に第二部の方になりますが、ざっくばらんなご意見を聞かせていただいて生産的な話し合いができたと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局 沼津市 鈴木	<p>それでは議事に入りますので、以後は杉本会長に進行をお願いします。</p>
会長 杉本	<p>議事1「沼津市調査の結果概要」について事務局より説明願います。</p>
事務局 沼津市 河本	<p>本日の資料ですが、A4のホチキス止めのもの、A3のホチキス止めのものがあります。A4のものは次第、名簿、資料1から資料3までとなっています。</p> <p>まず、資料の1から3までは、これまで会議の時間が空いてしまったので、念のための参考資料です。資料1は規約、資料2は第1回・第2回会議の要旨です。</p>

資料3は簡単に説明します。Jリーグクラブライセンス制度の通年の流れということで、毎年6月に次のシーズンのライセンス申請期限があり、その秋にライセンス交付判断、そして年が明けてシーズン開幕となっています。Jリーグ加盟クラブは毎年このライセンス申請をしなければならないことになっています。アスクラロさんの場合はJ2ライセンスで申請をしたいという状況になっています。資料3の裏面になります。愛鷹競技場と新スタジアムについて並行してこの場では話が出てきますが、上の方が愛鷹競技場の改修の件、下が新スタジアムの件ということでどちらも切っても切り離せない状況です。以上の資料は適宜ご覧ください。

それではA3の資料をご覧ください。沼津市が昨年度末に業務委託として調査を行った結果をまとめています。資料4はハード調査と通常呼んでいます。実施した目的は、そもそも（愛鷹競技場）の改修によってJ2基準を満たすことができるのか、5千席座席をおく必要があるのはわかっていたのですが、本当に今の構造上大丈夫か等、技術的検討が必要だったので、そういったところを課題出し、そして本当に必要な改修項目はどういったものがあるかという調査を行いました。

（資料4に改修の必要があると判明したものとして）大きく、①から⑤まであります。①は観客席ということで、5千席を増設する必要があります。②は映像装置です。現在、電光掲示板ですのでこれを大きいテレビのようなものですが、代える必要があります。今ある躯体はどうかやらそのまま使えそうだとということが判明しました。③のピッチの照明ですが、J2の基準ですと1,500ルクスのところ、現状500ルクス程度というものでこれを照度アップする必要があります。照明塔自体はそのまま使えるだろうということです。④のトイレですが、Jリーグ基準上不足しており、洋式化も進める必要があります。⑤がメインスタンド（下）の諸室の改修です。調査をした結果、部屋と部屋の関係について、ここは選手ゾーン、報道ゾーン等、いろいろJリーグ側でかなりの制限があり、ただ（必要な）部屋を設ければよいというものではありませんでした。実際に改修となると使っている団体の使い勝手を悪くしてしまっては仕方なので、これを議論していく、合意形成していく必要が実際にはあります。

資料右上の表1概算工事費ですが、各項目別に出ています。すべて合わせて約15億円～20億円と見積もっています。ここまでがハード面の調査報告になっています。

続けて資料5に移ります。先ほどのハード面と抱き合わせで一本の業務委託として実施した内容で、アスクラロ沼津が東部地域にどういったプラス効果をもたらすのかというところをまずは頭出ししています。いろいろな効果があるだろうということで、スポーツ振興の効果、住民や自治体への効果、観光・宿泊への効果など想定されるというのが前半にまとめています。資料5の右下は、愛鷹競技場の改修による経済効果が算出されています。

資料5の2枚目も引き続きソフト調査の結果で、アスクラロ沼津がJ2やJ1に昇格した場合の静岡県内への年間経済波及効果の推計です。昨年の最終戦でアンケートをしていて、どのくらいの人が宿泊したか、どの程度お金を使ったかなど、これをもとに推計の元の値に使っ

	<p>ています。結論としては資料右上にアスクラロ沼津による県内年間経済波及効果としてグラフ化されています。J 3 現在では6. 3 億円、J 2 昇格時に11. 4 億円、J 1 昇格時に34 億円と推計ができました。これは静岡県ホームページで経済波及効果を分析するソフトが公開されていて、これを使って専門事業者が推計した値になっています。</p> <p>最終的にソフト調査の見通しとして、実現のためのキーコンセプトを①と②を挙げています。地域の主体的な応援や関与を増やしていきたいということが一つ目、クラブと地域の目指すべき方向性を一致させて地域みんなと一緒にやっていくというのが二つ目です。具体的には、企業や地域社会への（アスクラロ沼津による）メリットの見える化、そしてホームゲームをフックと捉え、観光や消費などスタジアム周辺にお客を流すということに意識的に取組みたいというものです。</p> <p>以上、説明を終わります。</p>
会長 杉本	今の説明にあった調査に関して何かご質問、ご意見ありましたらお願いします。
静岡県 小澤	（資料4の費用面について）スタジアム本体の（改修）費用が入っているだけで、駐車場などこれ以外のスタジアムの外のさまざまな問題に対する対策費用は入っていないということによろしいですか。
事務局 沼津市 河本	今回は愛鷹競技場の改修のみというところで調査をかけています。今後、それ以外スタジアム周りの検討は当然必要になってくるのですが、まずは（競技場の）中身がどうかと昨年度中に検討したということになっています。
会長 杉本	他に何かありますでしょうか。
アスル クラロ 渡邊	今ご指摘の駐車場の問題ですが、去年からもそうだったのですが、高校野球と重複すると駐車場が不足します。去年の最終戦では8,600名ほど来られたので駐車場が足りなくなりました。そのため事前にバス来場インセンティブ企画をしまして、バス来場者には次節以降のホームゲーム（1試合）が無料になるチケットを配布しましてなるべくバスで来ていただくようにした。また、パークアンドライドということで、近隣の富士通沼津工場様に協力をいただき約700台駐車場をお借りしバスでピストン輸送するというのを、来場者の多い試合や高校野球と重なる試合に実施しています。
会長 杉本	<p>とりあえず今回の調査ではJ 2の基準に達するようにスタジアムに焦点を当てているということでした。</p> <p>他に何かありますでしょうか。資料5からの静岡県内の年間経済波及効果についても、スタジアム自体がアスクラロ沼津のためだけに作るわけではなく地域全体の賑わいということも目的になっていますので、それらについてもご意見ご質問あればお願いします。</p>
会長 杉本	経済波及効果の結果についてですが、資料5の2枚目の左下の緑の点線枠内の「宿泊・観光」に「回答者の10. 4%が県内に宿泊。20. 0%が他の観光地に立ち寄り」とあるが、観光地に立ち寄った20%の中に10. 4%の宿泊者が含まれている数字なのか、別建ての数字な



	のかはどうでしょう。
事務局 沼津市 河本	回答者の10.4%が県内に宿泊しましたが、観光の20%はこのうちのということではなく、全体の回答者で県内宿泊如何に問わず他のところに立ち寄って帰る、という数字になっています。
会長 杉本	それではスタジアムに訪れてから観光に流れたのは宿泊の有無にかかわらず20%ということですね。＜事務局同意＞
会長 杉本	他に意見や質問がなければ次の議事2「ホームスタジアム整備ロードマップについて」に移ります。事務局より説明をお願いします。
事務局 沼津市 河本	資料6をご覧ください。2018年7月現在として点線が引いてあります。ロードマップは三段に分かれていて、J1対応新スタジアムの流れが一番上、真ん中が愛鷹競技場の改修によるホームスタジアムJ2暫定利用の流れ、クラブの取組が一番下でございます。 このロードマップは、先ほど説明した沼津市の愛鷹競技場改修の調査の中でもどの程度の工事が必要でなど検討はしているのですが、それを実際のいろいろな制約等に当てはめて資料として表現したものです。 一番上のJ1対応新スタジアムの流れは、将来的にこちらの構想連絡会の最終的な取りまとめとして作っていく新スタジアム構想にロードマップの検討につながるもので参考として作成しています。 新スタジアムのロードマップですが、まず2018年、新スタジアム基本構想を策定していく流れになっています。できた構想、もしくは作っている途中でもJリーグと話をしていきます。青い点線で「構想に盛り込む内容」としてはいますが、これはこのようなものがあるのではないかとJリーグに聞いているものです。 次の段階としては、建設事業主体の成立が必要となってきます。これは一つの主体かもしれませんが、現時点では資料上は「建設事業団体の発足」と置いています。そして、建設候補地の絞り込みなどが続きます。建設用地が決定し、そこから設計、工事、完成という形になっています。 そして構想が連絡会としてまとまったところから下に矢印が伸びていて、「観客席全面を覆う屋根の有無、必要な改修内容が確定（緑字部分）」します。中段ですが、沼津市基礎調査となっているところは先ほど説明したものです。他に先進事例の調査、そして利用団体調整があります。今のところ、昨年度末にいろいろな（愛鷹競技場の）利用団体にこちらから声をかけ、（改修した場合）どのような不都合があるかなど数回してはいますが、これを継続的に行っていく必要があるものです。そして「基本計画」ですが、緑点線枠内で説明しています。（基本計画は、沼津市基礎調査で整理した改修概要をもとに、Jリーグ協議や利用団体調整を反映して改修内容を精査するとともに、ホームスタジアム利用終了後の対応を検討するもの） 「ホームスタジアム利用終了後」というのは、中段の一番右側にありますが、愛鷹競技場がアスクラ沼津のホームスタジアムとしての役割が終わりその先をどうするかというもので、それらをすべて含むものが基本計画です。



	<p>そもそも一番大事なところとして改修事業主体と改修費用の負担協議があります。愛鷹競技場は静岡県施設ですが、実際に誰が改修事業主体なのかが決まっていないので今後の協議となります。そしてここまで来ましたら設計予算が取れていって設計約2年、工事2～3年としています。ここに設計、工事についての注釈があります。他の団体が大会等に使えるなど利用制限は最小化する考えです。そして当然実際に施工しようとする年度にどのような大会があるのか、集客があるのかなど全部勘案して工事を組んでいく必要があるので、一度にすべて施工するのは考えづらいというもので、それらをすべて含んだ改修期間の見通しとなっています。</p> <p>そして（資料下段の）クラブの取組みですが、事務局のアスルクラロから後程説明いただきます。</p> <p>注釈「J1対応新スタジアムについて」について説明します。県東部で目指したいスタジアム像をまとめたものを「基本構想」と呼び、用地や建物、建設運営の体制・スキーム等からなる「基本計画」、設計の順にこの資料では具体化しています。建設事業団体発足まではこの連絡会が検討の中心を担うものと想定しています。</p> <p>注釈「愛鷹競技場改修について」ですが、「改修事業期間」は、平成29年度の沼津市基礎調査において専門事業者が調査検討を行った結果をもとにして、施設管理者である静岡県のご意見を踏まえて想定をしたものです。「準備期間の取組み」についても施設管理者である静岡県の意見を踏まえて想定しています。愛鷹競技場の改修後に新スタジアムの動きが進むなど、J2のホームスタジアムとして愛鷹競技場の利用期間が短いとなった場合、そもそも愛鷹競技場の改修自体の必要性について改めて議論が必要となる、というものが注釈としてついています。</p> <p>なお、このロードマップは時系列にはなっていますが、今後必要になる取組みや段取りを時系列で示したものですので、これが整ったら次に進めるというものになっています。何年の何月にできる、という性質のものではなく、この一枚のロードマップでこの地域の共通認識を作っていくためのたたき台とご理解いただければと思います。</p> <p>それでは、事務局のアスルクラロからクラブの取組みについて説明をお願いします。</p>
<p><b>事務局</b> <b>アスル</b> <b>クラロ</b> <b>清水</b></p>	<p>ただいま新スタジアム整備や愛鷹競技場の改修ロードマップの説明がありましたが、アスルクラロがJ2・J1に見合うようなクラブに成長していかないと、スタジアムだけ作っても意味がありませんのである程度の目星をつけていきたいと思っています。</p> <p>ロードマップのクラブの取組みですが、「J2以上に見合うチーム力・財政力をつける期間」となっています。チーム力とは、スタジアムができただけではJ2に上がれず、リーグの中で2位以内に入ることです。財政力ですが、アスルクラロの2017年は約3億5千万円弱と公表されており、これはJ3の中では中堅クラスです。J2になると最低5億円くらいの資金がないとJ2では戦えないというもので、J2平均では約10億円※です。財政力もアップしていないとまらない状況です。（※Jリーグホームページ公開資料『2017年度クラブ決算一覧』によると、アスルクラロスルガ（株）の年間営業収益は約3億6千万円、J2クラブの同平均額は約14億1千万円）</p>

	<p>リーグの順位向上としては、2018年、19節を終わって2位にいます。ホームゲーム来場者は現在平均2,200人で、まだまだがんばらなくてはならず、3,000人くらいにはしたい。ソシオ（ファンクラブ）は1,500人程度、看板スポンサーはJ3でもトップの数です。県東部地域での活動というところでは、E-Spo（静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会）と連携し、東部地域20市町のうち、10の市町とパートナーシップ協定を締結しています。9の市町と協定締結調整中です。おそらく今年中には締結できるのではという状況で、アスルクラロの活動に一定の理解をいただいているかと思います。そして今年度からE-Spoと連携し、東部の小学校に50回、サッカーや陸上の巡回教室をしています。こういった賑わいを作りながら、チーム力を向上させ、財政力をつけJ2ライセンスに向け、活動している状況です。</p>
<p>会長 杉本</p>	<p>ホームスタジアム整備のロードマップとアスルクラロ沼津自体の現状と今後の展開ということで説明いただきました。意見交換をしていきたいかと思いますので、ご意見ご質問をお願いします。</p>
<p>静岡県 小澤</p>	<p>事務局から説明はありましたが、例えば（愛鷹競技場改修後）J2の利用期間が1年2年になってしまう可能性もあり、本当に（改修費用）20億円以上のお金を投資するのかという、その前段階も含めて問題になってくると思います。</p> <p>J1対応新スタジアムの（ロードマップの）一番左の「新スタジアム基本構想策定・Jリーグ協議」という部分の吹き出し「すべて考え方・方針のレベル」となっていますが、新スタジアムをいつ・誰が・どこにという部分がある程度明確にしないと、緑の矢印で下に降りているところ、基本計画のところからおそらく大きなお金がかかってくるので、本当に（愛鷹競技場を）改修する必要があるのか、みなさんでしっかり判断すべきではないかと考えています。</p>
<p>会長 杉本</p>	<p>確かに時系列的にいつがゴールなのか、とこの時点では決まっていませんので、この構想連絡会で建設事業団体がどうなのか、建設用地がどうかと見えていない状態での話ですので、煮詰めていかなければならない部分ではあります。</p> <p>現時点ではここまでの、さまざまなところに配慮したロードマップになっていますので、どこからお金を出すのかなど具体的にない限りは、これより少し明確なロードマップはできないかと思います。</p>
<p>会長 杉本</p>	<p>クラブの運営の中で、19市町とのパートナーシップ提携をという説明が事務局のアスルクラロ沼津からありましたが、実際に何をするのでしょうか。</p>
<p>事務局 アスルクラロ 清水</p>	<p>協定の内容は簡単に言うとお互い協力しあいましょうというもので、具体的に今年からは先ほど説明したとおり、まずは協定締結先小学校へのサッカーや陸上の巡回教室を、先月から裾野市、三島市の小学校へ順次始まっています。</p> <p>また、伊豆南部にはスポーツをしたいがそのような場がないという状況でもあるので、観戦ツアーなど提案しているところです。</p>
<p>会長 杉本</p>	<p>Jリーグの各チームでは小学校を周っていろいろやっていると思いますが、個人的にはいまさらそれをパートナーシップとして考えていいものかと思いますが、もう少し集客につながるような、クラブが提案をしなければ、市町としては来てくれてよかったで終わってしま</p>

	う。もっと戦略的にパートナーシップの内容を検討することが必要。単に19市町とのパートナーとなってもそこから集客があるとは限らない。例えばくまモンのようにアスクラロのライセンス・マークを使うならば〇〇をしてください、など、いい意味でビジネスライクに市町とも話を進めることが重要と思います。
会長 杉本	意見は他に内容ですので、予定議事についてはこれで終わりとなります。
事務局 沼津市 鈴木	全体を通じて何かありますでしょうか。特にないようですので、以上を持ちまして構想連絡会第1部を閉会いたします。10分程度休憩を挟みまして第2部を開会します。
	< 第2部として、報道非公開で事務局作成の新スタジアム構想案の検討を行った >